

のぼりべつ

広報

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

3月3日は、ひな祭り。女の子の将来の幸福を祈る桃の節句として、古くから行われてきた五節句の一つです。

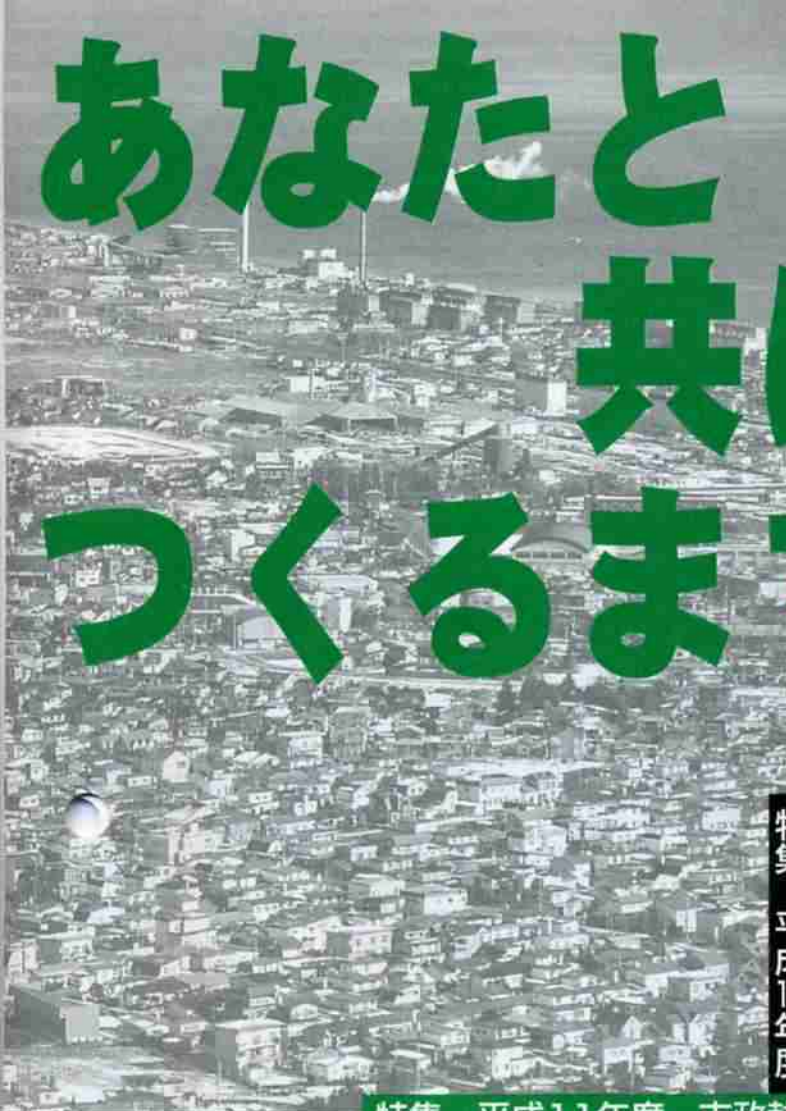
桜木町の白菊幼稚園（木村義恭園長）では、ひな人形を飾ったホールで、園児たちが練習をしてきた「うれしいひなまつり」を合唱するなど、楽しい一日を過ごしていました。



特集

あなたと共に つくるまち

あなたと共に つくるまち



特集
平成11年度



登別市長 上野 晃

特集 平成11年度 市政執行方針・教育行政執行方針

登別市教育長 後藤八良



予算・事業

平成11年度の予算案などを審議する「平成11年第1回登別市議会定例会」が2月25日(木)に開会し、上野市長は登別市がこの1年間にどのようにまちづくりを進めていくかを示す「市政執行方針」を発表しました。

新世紀の幕開けとなる西暦2001(平成13)年まで、あと1年と数カ月。

21世紀を輝かしい黄金期とするには、解決していかなければならない課題がいくつもあります。

実質経済成長率が3年連続マイナスとなった戦後始まって以来といわれる景気の低迷、大量生産・大量消費というライフスタイルが生み出す大量のごみ、かつて経験したことのない少子高齢化社会の到来。豊かで住みよいまちを実現するため、その対応が求められる課題は、私たち一人ひとりの日常生活の中に内包されています。

まちづくりについて、みなさんも一緒に考えてください。住みよいまちを実現するために。

共にまちづくりを進めていきましょう。私たちの未来を輝くものにするために。

あなたと共につくるまち

市政執行方針 (要旨)

重点事項

- ① 行政改革の徹底と財政の健全化
- ② 経済対策と雇用の確保
- ③ 環境の保全
- ④ 人にやさしいまちづくり
- ⑤ 住みよいまちづくり

重点事項①

行政改革の徹底と財政の健全化

民間企業が進めている経営体質の改善に劣らぬ努力を

- ◆ 近年は、長引く景気低迷の影響によって歳入が伸びず、さらに都市基盤整備などへの投資に伴う起債の増加や公共施設の老朽化によって、一層厳しい財政運営を余儀なくされています。
- ◆ 今後、景気が回復したとしても、かつてのような高率の経済成長が期待できない情勢の下では、歳入の大幅な増加を見込むことができない反面、歳出において、人件費などの義務的経費が重荷になることは明らかです。
- ◆ これまで以上に厳しい環境を踏ま

え、徹底した事務・事業の見直しや人件費の抑制について、民間企業が進めている経営体質の改善に劣らぬ努力を重ねなければならぬものと考えます。

「民間にゆだねるべきものは、ゆだねる」を基本に、スリムで効率的な行政運営と財政の健全化

- ◆ 職員の意識改革や政策形成能力、業務遂行能力の向上を図ることはもとより、新たな視点から人事管理や政策形成手法、財源配分の在り方など、行政システム全般の見直しを検討するとともに「民間にゆだねるべきものは、ゆだねる」を基本に、スリムで効率的な行政運営と財政の健全化に努めます。
- ◆ 見直しにあたっては、市民の目線による事業成果の把握や施策の内容、質の点検など、適切な行政評価に基づく施策選択の仕組みづくりやコスト感覚を備えた事業の執行評価に努めます。
- ◆ 少数精鋭による機動的な業務遂行を図るため、きめ細かな職員研修を実施するとともに、職員がその能力を十分に発揮できるような組織機構や管理体制の確立と併せて、職員の勤務成績や業務成果を適切に評価する仕組みの導入を目指します。
- ◆ 民間委託の拡大については、ごみ収

集業務やホームヘルプサービス、驚別公民館の管理運営などを対象に進めます。



▲管理運営を(財)登別市文化・スポーツ振興財団へ委託する驚別公民館

重点事項②

経済対策と雇用の確保

新たなビジネスチャンスを生かし、企業化しようとする民間の取り組みを積極的に支援

- ◆ 市は、これまでも地域経済対策を喫緊の課題として、金融対策や関係機関

と連携した相談事業の推進を図るとともに、国の緊急経済対策を受け、積極的に公共事業の前倒しをするなど、可能な限りの財政出動に努めてきました。今後は、その効果が十分に発揮されるよう図らねばならないと考えます。

- ◆ 公共事業にかかわる経営体においては、この機会に積極的に経営合理化に取り組みなど、体質の改善に努めるとともに、新たな経営の枠組みを求めて協業化や合併を進め、柔軟な市場対応力を構築することが求められますので、市としても、これらを意識した事業展開を図ります。
- ◆ 今後成長することが予想される福祉サービス部門や健康保持、環境保全の分野など、新たなビジネスチャンスを生かし、企業化しようとする民間の取り組みに対し、積極的に支援します。
- ◆ 近い将来、公共事業は縮小せざるを得ないと見込まれる情勢にあつて、今後は、社会資本の整備の分野で民間の資金や技術を活用する日本版PFIが検討されていますので、その動向も視野に入れながら、企業経営に携わるみなさんの起業意識や変革の取り組みが十分に発揮できる環境づくりに努めます。
- ◆ 基幹産業の観光については、ホスピタリティの向上や潜在的な観光資源の活用を努め、より魅力ある観光地としての受け入れ態勢の整備を図るとともに、国内外の観光客の誘致について、観光協会と連携して推進します。
- ◆ 今後有望と見られる海外市場については、東南アジア諸国への情報発信を



▲開湯100年を迎えるカルルス温泉

強化するとともに、近く観光ビザの解禁が期待される中国に対する誘客プロモート事業に取り組みます。

◆農林水産業は、引き続き生産基盤の整備を進めるとともに、旧札内小中学校校舎を活用して農畜産物の加工体験学習を進め、地場産品の利用拡大を図ります。

◆カルルス温泉は、今年開湯100年を迎えますので、新たな時代に向けたカルルス地区の振興発展を期し取り組まれる開湯100周年記念事業を支援します。

◆カルルス温泉命名の由来となったチエコ共和国カルロヴィ・ヴァリ市で、温泉の再興を祝う「温泉祭」が開催されることとなり、ゆかりの地として招待を受けましたので、登別観光協会、カルルス温泉旅館組合と共に参加し、著名なカルロヴィ・ヴァリとの交流を深め、登別カルルス温泉を広く世界に紹介します。



▲旧札内小中学校校舎

◆登別漁港周辺整備基本計画は、国の漁港整備計画へ位置づけされるよう、白老町と連携して関係機関に働きかけます。

◆幌別地区商店街近代化事業は、引き

続き街路の整備を推進するとともに、富士橋架け替え工事の促進を図ります。

◆アーニス横の「仮称」ふれあい緑地は、本年10月の完成を目指します。

◆登別温泉街のまちづくりは、ウエルカム・ゾーン整備の検討を進めます。

重点事項③

環境の保全

人と自然が共生する循環型社会の構築を目指す

◆環境保全条例などについては、環境に負荷の少ない持続的発展が可能となる社会づくりを進めていくために、市民や事業者、行政が環境保全に関する

平成11年度の主な事業の予算額

色文字の事業内容は、12ページ以降で紹介しています

【一般会計】

議会費

○議会史編さんに要する経費 434万円

総務費

○国際交流に要する経費 946万円
 ○学園広報等経費 779万円
 ○公共施設水洗化事業費 1,825万円
 ○庁舎周辺ロードヒーティング整備事業費 2,676万円
 ○公共施設分煙化に要する経費 183万円
 ○鷹別支所若草分室移転に要する経費 158万円
 ○総合的な環境保全の推進に要する経費 65万円
 ○2000年市民委員会事業補助金 300万円

民生費

○心身障害者デイサービス経費 2,608万円
 ○独居老人等緊急通報システム機器設置に要する経費 930万円
 ○在宅介護支援センター運営に要する経費 1,152万円
 ○ホームヘルプサービスに要する経費 5,804万円
 〈高齢者のニーズに対応するため、ホームヘルパーが24時間巡回して身体介護を行う24時間ホームヘルプサービス事業委託料など〉
 ○在宅老人デイサービスに要する経費 7,588万円
 〈登別市社会福祉協議会と特別養護老人ホーム緑風園へ通所デイサービスを委託する在宅老人デイサービス事業委託料など〉
 ○介護保険事務電算システム開発に要する経費 3,282万円
 ○介護保険の準備に要する経費 1,172万円
 ○仕事と育児両立支援事業費 1,050万円
 ○保育所広域入所委託料 278万円
 ○のぞみ園増築事業費 4,086万円
 ○放課後児童クラブ運営管理に要する経費 95万円
 ○生活保護扶助費 16億7,213万円
 ○交通安全施設整備事業費 1億1,210万円

衛生費

○母と子の健康づくり事業に要する経費 977万円
 ○老人保健事業に要する経費 5,941万円
 ○千歳最終処分場整備事業費 2,380万円
 ○新ごみ処理施設建設事業費 25億5,586万円
 ○し尿処理施設整備事業費 2,750万円

労働費

○登別市シルバー人材センター補助金 1,100万円
 ○勤労者特別融資積立金 2億6,500万円
 ○雇用対策救援事業費 3,752万円

農林水産業費

○(仮称)札内高原館整備事業費 1億5,000万円
 ○来馬第1地区道営農免農道整備事業負担金(第2期) 225万円
 ○西札内地区道営農免農道整備事業負担金 3,600万円
 ○鉱山地区農道整備特別対策事業負担金 8,000万円
 ○中札内地区緊急畑地帯総合整備事業負担金 2,100万円
 ○小規模治山事業費 1,406万円
 ○鷹別漁港共同漁具保管修理施設整備事業負担金 3,868万円

あなたと共につくるまち

平成11年度の主な事業の予算額

色文字の事業内容は、12ページ以降で紹介しています

商工費	
○空き店舗活用事業補助金	412 万円
○金融緊急対策信用保証料補給金	1,357 万円
○商店街コミュニティ施設整備事業補助金	290 万円
○中小企業特別融資積立金	4 億2,500 万円
○観光振興特別対策事業補助金	5,000 万円
土木費	
○市道改良・舗装事業費	7 億2,275 万円
〈中央町地区街区整備事業費（商店街近代化関連）、ロードヒーティング整備事業費など〉	
○市道舗装排水整備事業費	4 億円
○道道改良受託事業費	6 億1,029 万円
〈道道倶多楽湖公園線登別温泉通改良受託事業費、道道弁景観別線北駅前通改良受託事業費（片倉町地区・中央町地区）など〉	
○橋梁新設事業費（富岸7号橋新設事業費）	5,800 万円
○河川改修事業費	4,940 万円
○若山地区土地区画整理事業調査に要する経費	1,730 万円
〈区画整理事業調査、湿原の水水位水質調査など〉	
○まちづくりアクションプラン策定に要する経費	500 万円
○公園整備・新設事業費	1 億2,420 万円
〈しおみ公園整備事業費、（仮称）ふれあい緑地新設事業費など〉	
○街路事業費	1 億7,830 万円
〈環状通改良事業費、円山通改良事業費〉	
○防衛施設周辺整備事業費	1 億6,140 万円
○地籍調査事業費	2,100 万円
○市営住宅改善に要する経費（高齢者・障害者施策）	225 万円
○市営住宅（幌別東団地）下水道接続事業費	3,980 万円
○市営住宅（桜木団地）建替事業費	3 億890 万円
消防費	
○救急資器材購入費	372 万円
○高規格救急自動車購入費	2,486 万円
○消火栓新設事業費	900 万円
○大容量防火井戸新設事業費	2,370 万円
〈登別中学校グラウンド内〉	
教育費	
○教育用コンピューター導入経費	2,748 万円
○心の教室関係経費	513 万円
〈登別中学校心の教室整備事業費など〉	
○教育施設水洗化事業費	4,940 万円
○小学校校舎等整備事業費	3,432 万円
○中学校校舎等整備事業費	2,600 万円
○人と自然のふれあい拠点整備事業費	1,354 万円
〈宿泊体験学習施設整備事業費など〉	
○鷺別公民館周辺ロードヒーティング整備事業費	400 万円
○鷺別公民館エレベーター設置事業費	5,843 万円
○図書館蔵書のデータベース化に要する経費	106 万円
○図書館建設基金積立金	8,000 万円
○市民会館大規模改造事業費	2,839 万円
○市民会館周辺ロードヒーティング整備事業費	700 万円
【公共下水道事業特別会計】	
○公共下水道事業費	18 億1,882 万円

◆「環境との共生」や「環境の修復と創造」など、市として推進すべき環境保全対策の基本理念や範囲、市民・事業者・行政が取り組むべきそれぞれの役割、推進すべき環境施策の基本的事項などを明らかにした条例の制定に取り組みます。

◆省エネ・リサイクルや自然との共生、パートナーシップの在り方、行政の率先垂範など、市民生活や経済活動、行政施策を通して実現する環境に負荷の少ない社会構造に誘導していくための対策指針の策定に努めます。

◆策定にあたっては、広く市民の意見

をお聴きするとともに、昨年10月に公布された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく市町村レベルでの取り組みについても配慮します。

◆市の森林整備計画を策定し、民有林の適切な保全管理をすすめることとに、グリーンスピリットプランに基づき、みどり空間の創造に努めます。

◆市内若山町の湿原は、高層湿原の要素を併せ持つ中間湿原として道内最南端と推定され、貴重な動植物の宝庫であることが判明しましたので、大切な財産として保全していきます。平成11年度には、湿原の保全に必要なデータを得るため、水の状態調査を行い、専門家や自然愛好家グループ、地権者、地域住民のご意見やご協力を得ながら、自然学習や市民の憩いの場として

の要素を併せ持つ自然共生空間として保全する基本計画を策定します。

◆鉱山地区の人と自然とのふれあい拠点構想は、先般、北海道企業局との協議が整いましたので、幌別川砂防ダムへの魚道設置の実施設計と取り付け道路の工事に着手します。

◆老朽化した市民研修センターに替えて、新たにネイチャーセンターを建設するための基本設計を行います。

◆新しいごみ処理体制の構築については、本市における平成9年度の一般廃棄物の処理量は約2万5千トンで、市民一人当たり換算すると一日約1.2トンに達しています。処理経費も市民一人当たり年間7千円を超えており、今後新しい施設を使用した場合には、これを

超える多額の経費が必要になるものと予測されています。

◆このため、循環型社会の構築を目指して、市民や事業者の理解と応分の負担に基づき、資源リサイクルを推進す



▲建設中の新ごみ処理施設「クリンクルセンター」

るとともに、廃棄物の減量化、適正処理に努めます。

◆資源回収やごみの収集は、きめ細かなサービスと効率的な収集体制の確立を図るため、平成11年度後半から収集部門を民間に委託し、新しい方式に基づくごみの分別を試行します。

◆市民の健康保持や環境保全のため、市街地とごみ処理施設におけるダイオキシン類の調査を行い、本年完成予定の新ごみ処理施設について、ダイオキシン類の排出抑制と24時間運転に必要な施設の整備に万全を期します。

重点事項④

人にやさしいまちづくり

家庭や地域、職場、学校など、生活に深くかかわる場で支え合う環境づくりを

◆育児と仕事が両立できる子育て支援や介護問題などについては、家庭や地域、職場、学校といった生活に深くかわる場において、支え合う環境づくりを進める必要があると考えます。

◆安心して子どもを産み健やかに育てる環境づくりについては、エンゼルプランを策定し、その推進を図っていますが、平成11年度からは働く女性の子育て支援の充実を図るため、室蘭市、伊達市、白老町と連携して新たに保育所の広域入所を進めることとしました。

◆心身の発達に心配のある児童の受け入れは、これまで富士保育所のみで対応していましたが、平成11年度からすべての市立保育所へ拡大します。

◆昼間保護者のいない家庭などの小学校低学年児童対策は、これまでの児童館での対応に加え、富岸小学校区を対象に、放課後児童クラブを富岸青少年会館に開設します。



▲放課後児童クラブが開設される富岸青少年会館

◆放課後児童クラブの運営は、新しい試みとして、父母会やボランティアの協力を得ながら行政と地域住民が一体となって取り組んでいく方式で、30人程度の児童を有料で受け入れます。

◆心身の発達に心配のある児童などの療育事業は、平成8年度からのぞみ園内にこどもセンターを併設し、知的障害や情緒の面の障害が疑われる就学前児童などの療育指導を試行してきましたが、在籍児童数も17人となり、今後増加することが予想されますので、

施設を拡充し、従来の身体に障害をもつ児童の訓練と併せ、療育センターとして運営します。

◆障害者福祉計画は、近年、核家族化や少子化・高齢化の進行に伴い、障害をもつ方を取り巻く環境が大きく変化していること、障害の重度化・重複化がすすんでいること、精神に障害をもつ方や難病患者に対する福祉施策の充実が求められていることなどから新たな取り組みが必要となっています。

◆障害者基本法に基づく障害をもつ方のための施策に関する基本計画として、「障害者福祉計画」を平成10年度中に策定し、平成11年度からは、この基本計画に基づき、障害のある方もない方も社会の一員として生活し、活動できる社会を目指すノーマライゼーションの理念と、障害をもつ方が地域の中で自立した生活を送れるよう、福祉、保健、医療、教育、労働などの分野がかかわるサービスが有機的・体系的に提供される社会を目指すリハビリテーションの理念の実践に努めます。

◆介護保険制度の周知は、説明会の開催、広報紙や広報ビデオ、パンフレットなどを活用

◆介護保険の準備事務と高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画は、介護保険制度が平成12年度から実施されることとなり、保険者となる市町村に、その円滑な事業運営に向けた所要の準備を平成11年度中に完了するよう求められています。

◆当市も、その準備作業を進めています。

◆介護保険の準備事務と高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画は、介護保険制度が平成12年度から実施されることとなり、保険者となる市町村に、その円滑な事業運営に向けた所要の準備を平成11年度中に完了するよう求められています。

◆介護保険の準備事務と高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画は、介護保険制度が平成12年度から実施されることとなり、保険者となる市町村に、その円滑な事業運営に向けた所要の準備を平成11年度中に完了するよう求められています。

◆介護保険の準備事務と高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画は、介護保険制度が平成12年度から実施されることとなり、保険者となる市町村に、その円滑な事業運営に向けた所要の準備を平成11年度中に完了するよう求められています。

あなたと共につくるまち

応するため、従来の昼間の滞在サービスに巡回型サービスを加えて24時間体制を取り、人材の確保や、より高度な専門技術と効率的なサービス提供を図るため、民間に委託します。

重点事項⑤

住みよい

まちづくり

明るく安全で快適に暮らすことのできる地域社会の実現を

◆当市では、さまざまな分野で活発な市民活動が展開され、ふれあい豊かなコミュニティの形成が進むとともに、きめ細かな町内会活動を基盤として自主防災組織や防犯組織活動、青少年の健全育成、暴力追放の取り組みが展開されています。

◆これら相互の連携を密にし、より効果的な活動を推進するため「市民生活安全条例」を制定して、市民の安全意識の高揚と市民相互の協力による事故や犯罪の未然防止を図り、明るく安全で快適に暮らすことのできる地域社会の実現を目指します。

◆新生町・若草町地区への交番設置は、近く実現の運びとなりました。今後は早期に建設されるよう用地の確保や周辺環境の整備などを進めます。

◆救急救命士の養成、高規格救急自動車の整備を進めるとともに、医療機関と連携して24時間救急救命体制を確立し、救命率の向上に努めます。

必要とする施設の構造や規模、環境との調和、事業の効果など、市民参加の下、広く検討した上で事業を推進

◆中長期見通しに基づく財政の健全運営と国、道の制度活用に努めながら、公共下水道事業の促進や教育施設の修築、新たな福祉施設の整備、環境保全に対応した新ごみ処理施設の建設など、可能な限り急を要する施設整備に取り組んできました。

◆しかし、社会経済の動向を視野に入れたとき、今後歳入予算の大幅な増加が見込まれないことから、都市基盤の整備にあたっては、社会経済情勢の変化や市民ニーズの動向を的確に把握し、新たな視点に立つて施策選択や事業実施方法の検討に取り組むとともに、必要とする施設の構造や規模、環境との調和、事業の効果など、市民参加の下、広く検討した上で事業の推進にあたらなければならぬと考えています。

◆都市計画については、みんなで描いた登別市の将来像には、利便性ばかりではなく環境との共生や人とのふれあい、美しい景観などやさしさ、ぬくもり、ゆとりを取り入れた生活行動が可能な空間が開かれています。

◆まちづくりの基本を成す都市計画は、このようなビジョンの実現を目指す具体的な方策として定めていきます。

◆新年度は、地域別のあるべき市街地の姿や整備課題に応じた整備方針の樹立など、きめ細かな都市計画に関する基本方針について、市民のみなさんの

参画を得ながら「都市計画マスタープラン」として策定に取り組みます。

◆公共下水道については、平成10年度で50.5%の普及率になる見込みです。

◆平成11年度は、新生町、若草町、栄町地区の供用開始に向けた面整備を進め、年度内の一部供用開始を期します。

◆鷺別地区、登別地区の一部を含む第4期事業計画については、平成11年度中に事業認可を取得すべく事務を進めるとともに、若草町、美園町、鷺別町地区の供用開始に向けて若草ポンプ場の建設に着手します。

◆上水道事業は、給水区域のブロック化や老朽石綿管などの改良を進めます。

◆道路の整備は、引き続き、登別温泉バイパス、北駅前通りなど、基幹道路の推進を図るとともに、幹線市道の整備を進めるほか、新ごみ処理施設への交通アクセス向上を図るため、中央通り改良事業に着手します。



▲平成10年10月に完成した市営桜木団地第1期工事

◆公営住宅は、新年度、市営桜木団地の2期工事に着手するとともに、道営新川団地、登別東団地の建設促進を図ります。

平成11年度は、新しい千年紀を迎える前年にあたる重要な年

◆市制施行30周年を迎える西暦2000年には、21世紀に向け市民総参加でまちづくりに取り組む決意を表す年にしたいと申し上げてきましたが、昨年、市内各団体が参加して2000年の事業案を検討する市民委員会が設立され、市民からのアイデア募集、市内各団体へのアンケート調査などに取り組まれました。本年は、市民委員会と連携して具体的な事業案や実施の枠組みづくりを進めます。

◆冷戦が終結したとは言え、世界では多様な文化や宗教を持つ民族間の地域紛争があつたを絶えず、残念ながらもだ世界の恒久的な平和を維持する枠組みが出来ていません。21世紀を目前に、人類は一日でも早く恒久平和を実現する努力が必要と考えます。

◆昨年当市は「平和都市宣言」を行い、市民すべてが希求する世界平和と核兵器廃絶について国連や核保有国へアピールしました。

◆今後は、平和都市宣言の精神を生かし、平和思想の普及を図るとともに、世界平和の基礎となる異なった民族の多様な文化や価値観などの相互理解を図るため、地域レベルでの国際交流を推進します。

教育行政執行方針(要旨)

学校教育

◎学校教育

◆今年度は、新しく学校関係者、父母、地域の関係者などによる「新しい教育をつくる21懇話会」を設立し、学校、家庭、地域社会が一体となって知恵を出し合い、児童生徒にとって魅力があり、楽しく学ぶことができる特色ある教育活動を展開できるよう、その準備を進めます。

◆教職員自らがその使命と責任を自覚し、専門性を高める研修活動に積極的に取り組めるよう条件整備に努めます。

◆昨年度は、10校が教育実践研究校の指定を受け、5校が公開研究会を開催するなど大きな成果を収め、今年度は、文部省、胆振教育局、胆振教育研究所、登別市の研究指定校など、継続4校、新規7校が指定を受けており、各学校の研修活動が一層、積極的に進められるよう努めます。

◆学校週5日制については、2002年度より完全実施されることから、これまで、各中学校区学校週5日制運営委員会の特徴ある活動が積極的に展



▲幌別中学校区学校週5日制運営委員会による「ふれあい農園」

開され、多大の成果を収めてきたところですが、この活動に対し、今後とも、引き続き支援します。

◎生徒指導

◆生徒指導の基本に立って、適切な児童生徒理解に裏打ちされた信頼関係の醸成に努めるとともに、校内の生徒指導体制を確立し、教師が毅然とした態度で、しかも受容と共感という指導姿勢をもって対処することが重要です。そのため、今後一層、学校、関係機関、各種団体などとの連携を密にし、指導の徹底が図られるよう努めます。

◆今日まで最重点に取り組んできた「いじめ」については、迅速・適切に対処する必要があることから、「教育相談電話」や「いじめ専用ダイヤル」の活用、「教育相談室」での来室相談などの活用を周知するとともに、各学校に配布した児童生徒向けの「いじめ

学習資料」が有効に活用されるよう努めます。

◆不登校児童生徒への対応は、これまでも自然体験学習や宿泊交流学習などを実施し、一人でも多くの児童生徒の心を開くよう努めてきましたが、今後も、教員や養護教諭を対象とした事例に応じた「読書療法」や「行動療法」など、相談技能を高める研修会の開催、臨床心理士を招いて該当児童生徒の保護者を対象とした懇話会などの開催、家庭向け啓もう資料の配布、専門職員による電話相談、来室相談、家庭・学校訪問などを引き続き実施します。

◆中学校における「心の教室」は、生徒が悩みなどを気軽に話せ、心にゆとりを持てるような環境を提供するため、昨年度、いち早く幌別中学校、緑陽中学校の2校に相談室を整備し、緑陽中学校、西陵中学校、登別中学校の3校に心の教室相談員を5名配置するとともに、緑陽中学校には、コンピュータを設置し、心の悩みに関する最新の情報収集に努めるなど、それぞれ成果をあげています。本年度は、新たに、登別中学校に「心の教室」と保健室の整備をします。

◆生徒指導担当教諭の配置は、引き続き、北海道教育委員会に要望します。

◆「入浴体験学習」「外国青年招致事業」「中学生海外派遣事業」「白石市との交流事業」などは、引き続き実施します。

◎小学校へのコンピュータ導入

◆今年度、「青葉小学校」「鶯別小学校」「若草小学校」の3校にそれぞれ整備します。

◎学校図書

◆昨年度から学校図書費は、別枠による予算措置をしてきましたが、本年度は、さらに増額し、一層、学校図書館の整備・充実に努めます。

◎健康・安全指導

◆各学校が、今後、単に学校施設での指導にとどまらず、校外施設などでも有効に活用して体力づくりを進めるとともに、児童生徒が自ら病気やけがから身を守る習慣を身につけるよう指導の徹底を図ります。

◆交通事故については、これからも関係機関の協力を得て「交通安全教室」を開設するなど、一層、意識の高揚と交通事故の防止に努めます。

◆市内教職員の自主的な組織で活動を

している「登別市教職員交通安全クラブ」の活動を支援します。

◎ 幼稚園教育

◆このたび示された新幼稚園教育要領が来年度から実施されることから、円滑に移行されるよう努めます。

◆読書に親しみを持たせるために取り入れた「読み聞かせ活動」を、さらに拡充します。

◎ 学校給食



◆多様化する児童生徒のし好に配慮しながら栄養のバランスを確保し、かつ、安全で信頼される楽しい給食にするよう一層、努めます。

◆本年度は、調理釜の更新をします。

◎ 施設整備

◆市内の小中学校は、いずれも老朽化の課題を抱えています。今後とも、授業に支障のないよう整備します。

◆本年度は、青葉小学校の暖房設備を個別暖房に切り替えます。

◆西陵中学校は、耐震補強や施設の改善が必要のため、大規模改造の実施設計を行います。

◆「幌別西小学校」と「西陵中学校教員住宅」の水洗化を進めます。

社会教育

◎ 社会教育

◆今年度は「社会教育中期計画」が4年目を迎えることから、市民が求めている学習や当市の学習環境の現状と課題などを把握し、第2次計画の策定に着手します。併せて、「生涯学習推進基本構想」を策定します。

◆老人大学は、高齢者の生涯学習の場として内容を充実するとともに、修得した豊かな体験や技能を発表する機会を設け、世代間交流についても積極的に進めます。

◆本年は、国連の定める国際高齢者年であることから、高齢者への理解を深める啓発事業を推進します。

◆婦人短期大学は、今日まで学習者の要望、時代に即応した課題などを取り入れた学習を行ってきましたが、今後一層、学習内容の充実を図ります。

◆マイプラン講座は、団体の育成活動や学習活動に大きな成果を収めてきましたが、今年度は、新しくマルチメディアプロジェクトを導入し、各種講座に必要な資料提示の一層の効率化、

充実化を図るとともに、この事業の周知と活用の奨励に努めます。

◆家庭教育学級は、本年度、新たに家庭教育についての啓発用パンフレットを作成し、適切な情報の提供を行うとともに、親子が共同体験をする場や機会の充実を努めます。

◆生涯学習の指導体制の充実を図るため、派遣社会教育主事の配置を北海道教育委員会に要望します。

◆本年8月、当市において開催される道民スポーツ胆振夏季大会、東海銀行女子陸上競技部の合宿を支援します。

◎ 青少年教育

◆「大型店非行防止連絡会」の開催、地域やPTAとの連携などを強化し、非行防止に努めるとともに、生徒指導担当教諭や地域の育成団体との連携を一層、密にするなど、的確な情報交流を図り、適時・適切な対応に努めます。

◆変質者・不審者からの被害防止に向けて「こども110番スタディちゃんの家」を増設します。



◆ふるさと広場実行委員会の地道な活動は、親子のふれあい、世代間交流を通して自然体験学習の充実にも成果をもたらしてきたところですが、今後とも、「ふれあい農園」や「ふるさと探訪」「ふるさと冬まつり」など、ふれあい学習の推進・充実を図り、青少年の健全育成に

努めます。

◎ 図書館

◆市民の生涯学習の情報拠点として、資料の充実整備をはじめ、室蘭・登別・伊達3市の図書館相互利用を図るなど、市民のニーズにこたえる図書館運営に努めてきました。

◆新図書館の建設は、昨年「新図書館構想21人委員会」を設置し、本年度は、その意見を集約することとしています。また、新たに「新図書館建設基金」を創設し、その実現に向け準備を進めます。

◆本年度は、コンピュータに蔵書データを入力し、貸し出し業務の効率化を図ります。

◎ 社会教育施設

◆市有施設などの活用は、学社融合の立場に立って、その活用に努めてきましたが、今後とも、一層、有効活用にあつめます。

◆市民会館大ホール大規模改造工事は、本年4月末に完了しますので、その有効活用に努めるとともに、鷺別公民館にエレベーターを設置し、市民会館・鷺別公民館にそれぞれロードヒーティングを設置します。

◆老朽化の著しい市民研修センターは、自然に親しみ、ふれあい活動の拠点施設として宿泊研修機能を備えた、「ネイチャーセンター」として更新するため、本年度、基本設計に着手します。

◆鷺別公民館の管理運営と川上公園野球場の受付業務を、登別市文化・スポーツ振興財団に委託します。

予算

厳しい財政状況。経常経費の徹底した見直しと幅広い新事業の盛り込み。

全会計総額

一般会計238億8千700万円を計上。対前年度比4・2割の減

平成11年度の当初予算総額は、全会計で399億617万円。平成10年度当初予算総額と比較すると0・8割の減となりました。

内訳としては、まちづくりの根幹を成す一般会計が238億8千700万円、国民健康保険や学校給食事業、公共下水道事業、老人保健、簡易水道事業の特別

平成11年度各会計予算総括表 (単位:万円)

会計区分	平成11年度		平成10年度当初予算額	比較増減	伸び率(%)
	当初予算額	構成比			
一般会計	2,388,700	59.9%	2,492,600	△103,900	△4.2
特別会計	1,457,070	36.5%	1,345,560	111,510	8.3
国民健康保険	441,320	11.1%	414,630	26,690	6.4
学校給食事業	37,680	0.9%	40,610	△2,930	△7.2
公共下水道事業	289,130	7.2%	274,980	14,150	5.1
老人保健	685,940	17.2%	615,340	70,600	11.5
簡易水道事業	3,000	0.1%	0	3,000	—
水道事業会計	144,847	3.6%	186,231	△41,384	△22.2
収益的支出	89,034	2.2%	87,702	1,332	1.5
資本的支出	55,813	1.4%	98,529	△42,716	△43.4
合計	3,990,617	100.0%	4,024,391	△33,774	△0.8

財政用語ひとくちメモ

- ※1 一般財源
使い道が特定されず、どんな経費にも自由に見えるお金
- ※2 財政調整基金積立金
経済の不況などにより大幅な収支減になった場合や災害などにより予期せぬ支出の増があった場合に備えるため、財源に余裕のある年度に積み立てておいた基金
- ※3 減債基金積立金
市の歳入の減少などに関係なく支出しなければならない市債の償還を計画的に行うため積み立てられた基金

全会計の合計が14億7千70万円、公営企業の水道事業会計が14億4千847万円となっています。

各会計を平成10年度の当初予算と比較すると、一般会計が4・2割の減、特別会計が8・3割の増、水道事業会計が22・2割の減となっています。

平成11年度の予算は、自主財源の市の増収が見込まれず、対前年度比2・4割の減となるなど厳しい財政事情ではあります。経済対策と雇用の確保、環境保全に配慮した公共施設

一般会計歳入

の建設、少子高齢化・障害者対策、都市基盤の整備に重点を置いた予算編成となっています。

財源不足補てんのため、財政調整基金など、約5億円の取り崩し

主な歳入では、一般財源(※1)の根幹を成す市税が国による恒久的減税の影響もあり、対前年度比2・4割減の53億8千560万円、地方交付税については、対前年度比3・4割増の52億8千400万円を見込んでいます。

一般財源総体で前年度と比較すると4億1千975万円、3・4割の増となりますが、その内容は財源不足を補うため、財政調整基金積立金(※2)と減債基金積立金(※3)合わせ

て約5億円を取り崩すこととしており、厳しい財政状況に変わりはありませぬ。

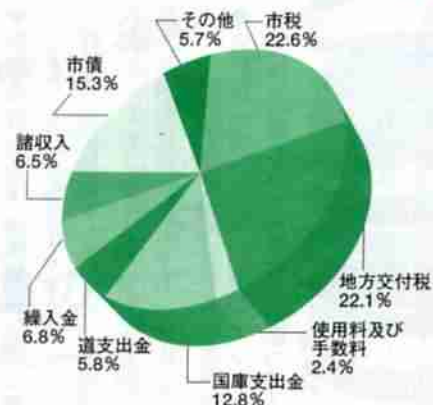
一方、市の借金である市債に



一般会計歳入

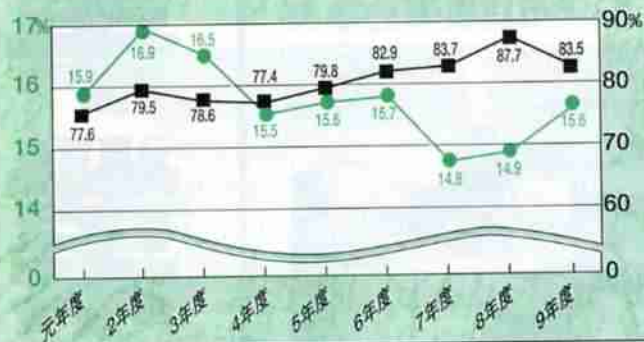
(単位:万円)

費目	平成11年度		平成10年度当初予算額	比較増減	伸び率(%)
	当初予算額	構成比			
市税	538,560	22.6%	551,600	△13,040	△2.4
地方交付税	528,400	22.1%	510,870	17,530	3.4
使用料及び手数料	57,757	2.4%	60,161	△2,404	△4.0
国庫支出金	306,686	12.8%	317,945	△11,259	△3.5
道支出金	138,444	5.8%	148,558	△10,114	△6.8
繰入金	161,774	6.8%	139,966	21,808	15.6
諸収入	155,671	6.5%	130,263	25,408	19.5
市債	364,780	15.3%	518,150	△153,370	△29.6
その他	136,628	5.7%	115,087	21,541	18.7
合計	2,388,700	100.0%	2,492,600	△103,900	△4.2



あなたと共につくるまち

公債費比率と経常収支比率



公債費比率

市債を借り入れた際、定められた条件に従って、毎年度、元金の償還と利子の支払いが必要となりますが、これに要する経費を公債費といい、この公債費の一般財源に占める割合を公債費比率といいます。通常財政構造の健全性を保持するためには、この比率が10%を超えないことが望ましいといわれています。

経常収支比率

財政構造の弾力性や硬直度をより正確に測定する手法として、経常一般財源に対する経常経費充当一般財源の割合を求める経常収支比率があります。この比率が通常80%を超えると弾力性を失いつつあるといわれています。

投資的経費は、普通建設事業の補助分(国などから補助のある事業)が22億2千376万円と50・4%の減で、新ごみ処理施設の14億9千800万円や市営住宅建設の5億4千700万円が対前年度比で減になったことが主な要因となっています。

また、普通建設事業の単独分(市が単独で行う事業)は、37億4千600万円と15・8%の増で、旧札幌内中学校を農畜産物の体験学習施設に改修整備する(仮称)札幌高原館整備事業の1億5千万円や鶴別公民館にエレベーターなどを設置するための6千700万円などが主な増要因となっています。

「が家事援助・身体介護を行う」に加え、「巡回型サービス」(ホームヘルパーが24時間巡回して身体介護を行う)を開始するためのホームヘルプサービスの民間委託や、特別養護老人ホーム緑風園へ市内2カ所目の拠点となる在宅老人デイサービスの委託、これまでの一部委託から全面委託へ移行するごみの収集運搬業務の民間委託、(財)登別市文化・スポーツ振興財団への鶴別公民館の管理運営委託などがあげられます。



▲在宅老人デイサービス

一般会計歳出
少子高齢化対応や景気経済対策に重点を置いた配分

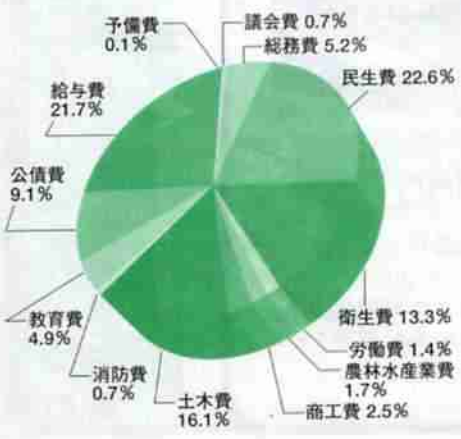
一般会計の主な歳出を性質別にみると、人件費や扶助費など毎年継続して支出する経常的経費が14億3千827万円で、対前年度比6・4%の増、道路や公共施設の建設など公共事業のために一時的に支出する投資的経費が65億8千6万円と23・1%の減になってい

ます。経常的経費は、事務用消耗品費・旅費・超過勤務手当・臨時職員などの経費を、合わせて2千657万円削減しましたが、特別養護老人ホーム緑風園の50床増床などに伴う老人措置費の増や経済不況などによる生活保護費の増大を見越した扶助費が30億6千292万円、15・8%の増となりました。

なお、本年度はスリムで効率的な行政運営と財政の健全化に努めるため、一部事業の民間委託・移行を盛り込み、物件費が28億2千619万円、6・8%の増となりました。

主な増要因としては、これまで行ってきたホームヘルパーの「滞在型サービス」(高齢者宅などでホームヘル

つについては、平成11年度が最終年となる「新ごみ処理施設建設事業」の事業費が大きくマイナスとなるため、29・6%減の36億4千780万円を予定しています。



費目	平成11年度		平成10年度 当初予算額	比較増減	伸び率 (%)
	当初予算額	構成比			
議会費	17,958	0.7%	19,647	△1,689	△8.6
総務費	124,520	5.2%	119,799	4,721	3.9
民生費	540,722	22.6%	486,513	54,209	11.1
衛生費	317,981	13.3%	454,372	△136,391	△30.0
労働費	33,729	1.4%	33,274	455	1.4
農林水産業費	41,065	1.7%	22,577	18,488	81.9
商工費	59,285	2.5%	60,284	△999	△1.7
土木費	383,718	16.1%	455,583	△71,865	△15.8
消費費	16,253	0.7%	25,852	△9,599	△37.1
教育費	117,206	4.9%	97,904	19,302	19.7
公債費	216,471	9.1%	208,522	7,949	3.8
給与費	517,792	21.7%	506,273	11,519	2.3
予備費	2,000	0.1%	2,000	0	0.0
合計	2,388,700	100.0%	2,492,600	△103,900	△4.2

一般会計歳出

事業

少子高齢化や環境保全対策、民間委託拡大など、まちづくりを強力に推進。

「平成11年度の主な事業の予算額」(4ページ・5ページ)の中で、色文字で記載した事業を紹介します。

総務費

◎鷺別支所若草分室移転に要する経費 …158万円

室蘭信用金庫若草支店



平成9年4月に若草つどいセンター内に開設した鷺別支所若草分室を室蘭信用金庫若草支店内に移転し、これまで行ってきた住民票や印鑑証明書の交付などの業務に加え、税金などの収納業務も取り扱います。業務開始は4月5日(月)です。

◎2000年市民委員会事業補助金 …300万円

2000年市民委員会



平成10年度には、市制施行30周年を迎える西暦2000年の事業案を検討する市民委員会が設立され、市民からのアイデア募集、市内各団体へのアンケート調査などが行われました。平成11年度は、市民委員会と連携して具体的な事業案や実施の枠組みづくりを進めます。

民生費

◎ホームヘルプサービスに要する経費…5,804万円

平成10年度までは、日常生活に支障のある高齢者や身体に障害をもつ方などの家庭にホームヘルパーを派遣し、家事援助や身体介護を行う「滞在型サービス」を行ってきました。

平成11年度は、従来の「滞在型サービス」に、ホームヘルパーが24時間巡回して身体介護を行う「巡回型サービス」を含めた「24時間対応型ヘルプサービス」を民間に委託し、7月からの実施を予定しています。

◎在宅老人デイサービスに要する経費…7,588万円

総合福祉センター「しんた21」



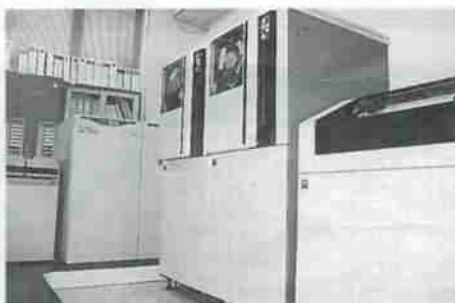
特別養護老人ホーム「緑風園」



平成10年度までは、登別市社会福祉協議会へ在宅老人デイサービスを委託し、「しんた21」を拠点として行ってきました。

平成11年度は、市内2カ所目の拠点として、「特別養護老人ホーム緑風園」へ在宅老人デイサービスを委託します。

◎介護保険事務電算システム開発に要する経費…3,282万円



平成12年度から開始される介護保険制度の事務処理をより効率的に進めていくため、現在のコンピュータに新たな介護保険事務処理システムを組み込みます。

衛生費

◎新ごみ処理施設建設事業費
…25億5,586万円

リ
ン
ク
ル
セ
ン
タ
ー



施設の老朽化などが著しい清掃工場(焼却処理施設)と平成11年度で埋め立てが完了となる千歳最終処分場に代わる新たなごみ処理施設(中間処理施設・最終処分場)の建設を平成9年度から進めています。

現在、平成12年4月の稼働に向け、焼却処理施設やリサイクルプラザの建設工事を行うとともに、最終処分場やこれに付帯する浸出水処理施設の建設工事、最終処分場への搬入道路の造成工事などを進めています。

◎千歳最終処分場整備事業費
…2,380万円



平成11年度で埋め立てが完了となる千歳最終処分場のごみの飛散・流出を防止するための工事を平成6年度から行い、平成7年度からは法面と排水工事を行ってきました。

平成11年度は、これらの工事を引き続き行います。

◎のぞみ園増築事業費…4,086万円

鉄
南
ふ
れ
あ
い
セ
ン
タ
ー



平成10年度までは、鉄南ふれあいセンター内(幌別町)の「のぞみ園」にこどもセンターを併設し、知的障害や情緒の面の障害が疑われる就学前児童などの療育指導を試行してきました。

平成11年度は、のぞみ園を増築し、従来の身体に障害をもつ児童の訓練と併せ、「療育センター」として運営します。

◎保育所広域入所委託料…278万円



保護者が市町村の境界に住む場合や通勤途中に保育所がある場合など、登別市以外の保育所(室蘭市、伊達市、白老町)にも入所できるようにし、働く女性の子育て支援の充実を図ります。

◎放課後児童クラブ運営管理に要する経費
…95万円

富
岸
小
学
校



昼間保護者のいない家庭などの小学校低学年児童対策として、これまでの児童館での対応に加え、富岸小学校区を対象に放課後児童クラブを富岸青少年会館に開設し、30人程度の児童を有料で受け入れ、働く女性の子育て支援の充実を図ります。

農林水産業費

◎(仮称)札内高原館整備事業費
…1億5,000万円

旧札内小中学校を、軽スポーツ運動場、旧札内小中学校資料展示室、交流室兼体験学習室、地域特性を生かした乳製品やハム・ソーセージ加工調理室を備えた施設とするため、改修整備します。

● 土木費 ●

◎道道改良受託事業費《道道倶多楽湖公園線登別温泉通改良受託事業費、道道弁景幌別線北駅前通改良受託事業費（片倉町地区・中央町地区）など》

…6億1,029万円

◆道道弁景幌別線北駅前通改良受託事業（片倉町地区・中央町地区）



片倉町地区では、セブンイレブン登別新川店から総合福祉センター「しんた21」付近までの約900mの区間を整備しています。

道路改築は、平成14年3月ごろまでに完成する予定です。

中央町地区では、JR幌別駅から富士橋を経て、モンスターかわむら付近までの約440mの区間を整備しています。

現在行っている富士橋の架け替え工事は、平成11年10月の完成を予定しています。道路改築は、平成12年3月ごろまでに完成する予定です。

JR幌別駅前広場の整備は、平成12年度から工事を進める予定です。

◎市道改良・舗装事業費《中央町地区街区整備事業費（商店街近代化関連）、ロードヒーティング整備事業費など》

…7億2,275万円

◆中央町地区街区整備事業（商店街近代化関連）



中央町地区の道道の拡幅整備に合わせ、安全で快適に通行できるよう歩道の整備、道路の拡幅などを実施します。

◎若山地区土地区画整理事業調査に要する経費《区画整理事業調査、湿原の水位水質調査など》

…1,730万円

若山地区土地区画整理事業の基本計画案修正や調査、貴重な動植物の宝庫であることが判明した湿原の水位・水質調査を実施し、公園としての利活用や整備手法などについて検討を進めます。

◎大容量防火井戸新設事業費《登別中学校グラウンド内》

…2,370万円



登別中学校グラウンド内に、市内で4カ所目となる大容量防火井戸を設置し、消防用水や非常用生活用水を確保します。

● 消防費 ●

◎高規格救急自動車購入費

…2,486万円



本署（登別市消防署・中央町）の老朽化した救急車に代わり、救命用資機材を装備した高規格救急車を購入します。

◎**橋梁新設事業費（富岸7号橋新設事業費）**…5,800万円



平成10年度には、亀田記念公園入り口近くの富岸町2丁目と新生町4丁目の間を流れる西富岸川に富岸8号橋を新設しました。平成11年度は富岸8号橋から約90%上流に富岸7号橋を新設します。

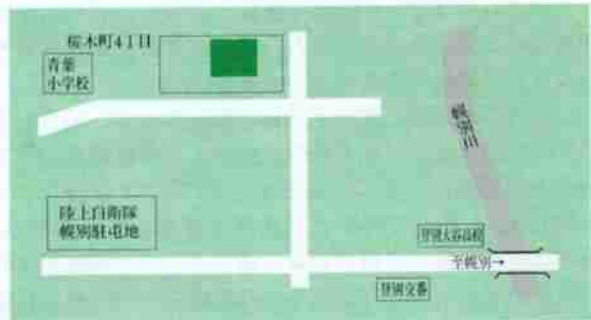
◎**街路事業費《環状通改良事業費、円山通改良事業費》**…1億7,830万円

◆環状通改良事業



市民会館から西通りまでの整備に必要な用地買収や移転補償を行います。

◎**市営住宅（桜木団地）建替事業費**…3億890万円



老朽化した市営桜木団地の建て替えを行います。平成10年度には、5階建て40戸・1棟が完成し、平成14年度までに全体で3棟・130戸を建設する予定です。

◎**公園整備・新設事業費《しおみ公園整備事業費、（仮称）ふれあい緑地新設事業費など》**…1億2,420万円

◆しおみ公園整備事業



しおみ公園（幌別町）のトイレの水洗化や遊具の取り換え、水飲み場やあずまやなどを整備します。

●**公共下水道事業特別会計**

◎**公共下水道事業費**…18億1,882万円

新生町、若草町、栄町地区など、整備区域の拡大を図ります。

また、若草町、美園町、鶯別町地区の供用開始に向け、若草ポンプ場の建設に着手するほか、若山浄化センターの処理能力の増量を図るため、2カ年の事業計画で整備を進めます。

◎**人と自然のふれあい拠点整備事業費《宿泊体験学習施設整備事業費など》**…1,354万円



鉾山地区の豊かな自然資源を活用し、市民の潤いの場、青少年の自然環境教育の場として、生態観察学習施設の整備や宿泊体験学習施設（ネイチャーセンター）などの基本設計を行います。

●**教育費**

◎**鶯別公民館エレベーター設置事業費**…5,843万円

「人にやさしいまちづくり事業」の一つとして、障害をもつ方や高齢者が利用しやすい公共施設にするため、市役所本庁舎と市民会館、鉄南ふれあいセンターに続き、鶯別公民館にエレベーターなどを設置します。

エビかご漁が解禁

3月2日火早朝、1日から解禁となったエビかご漁の初水揚げが登別漁港で行われ、漁港はエビの選別作業や競りなどで活気づきました。

この日は、登別と虎杖浜漁協の漁船24隻が、前日、登別沖に仕掛けたエビかごを引き揚げて次々に帰港。

初水揚げ量は、ボタンエビが約300箱、ナンバンエビが約700箱。船上で種類と大きさを選別されたエビは、荷さばき所で競りに掛けられ、活ボタンエビは前年より高値、活ナンバンエビは前年より安値で取引され、札幌や東京などに出荷されました。



交通ルールを学んだよ

3月2日火、桜木町の白菊幼稚園と中央町のカトリック聖心幼稚園で、また9日火には鷺別町のリリー文化幼稚園(写真)で「みんなの交通安全教室」が開かれました。この教室は、幼児に基本的な交通ルールを身につけてもらい、その効果を高めるために手品を取り入れたもので、北海道交通安全推進委員会主任推進員の菅原繁春さんが手品を披露。次々と披露される見事な手品に子どもたちはびっくりしながらも、「赤信号で横断歩道を渡ってはいけません」という菅原さんの説明に「はい」と大きな声で返事をしていました。



かわいいおひなさまができました

2月21日(日)、文化伝承館(郷土資料館横)で、毎年恒例の「ひな人形づくり」が行われ、親子ら約50人が参加しました。

今年の「ひな人形」は、昨年、大分県の方が同館に寄贈した竹を台座に使った宝船に、和紙で作った内裏びなを取めたもの。

参加者は、同館を中心に活動しているボランティアグループ「SLG」のメンバーに細かい作業を教わりながら、かわいらしいひな人形づくりに取り組んでいました。



出会いと、学ぶ喜びを胸に

2月17日(木)、市民会館で、登別市婦人短期大学の平成10年度卒業式・修了式が行われました。

婦人短期大学は、女性が教養を深め、その知識を地域社会に役立ててもらおうと行われているもので、教養コースと、英会話、心理学、健康、ボランティアなど6科目の選択コースが設けられています。この日は2年間の学習を終えた22人が、同短期大学総長の上野市長から卒業証書を受け取った後、卒業生を代表して小笠原寿恵さんが「2年間で学んだことを、ふるさと登別のために役立てます」と新たな決意を述べました。



見つけたよ！雪原の宝

3月7日(日)、カルルス町の国設カルルス温泉サンライバスキー場で「第35回カルルス温泉スキーまつり」が開かれ、約2,000人の親子連れなどでにぎわいました。会場では、登別市長杯・和歌賞少年スキー大会をはじめ、親子で楽しめる雪中みかん拾い、親子بوبスレー大会(写真)、チューブレース大会などのイベントが次々に行われました。

雪原宝探しでは、カルルス温泉ペア宿泊券が3本のほか、600本もの景品が雪の中に隠されているとあって、参加者は真剣に雪原の「宝」を探していました。



スペシャリストは輝きます

3月19日(金)、日本工学院北海道専門学校(中山浩資校長)で第16回卒業式が行われ、卒業生は同校2年間の学業で専門技術と知識を身に付けたスペシャリストとして社会へ旅立ちました。

この日、卒業した学生は、情報処理科や情報ビジネス科など8学科263人。景気低迷のあおりを受けて就職難といわれている中、同校卒業生の就職率は98.0%と大奮闘するとともに、公務員の合格者が67人に上り、4年制大学にも劣らないほどの公務員合格者数を同校は誇っています。

市民ボランティアフォーラム



在宅介護と福祉機器をテーマに

2月20日(土)、しんた21で「市民ボランティアフォーラム」(登別市、登別市社会福祉協議会、胆振支庁共催)が開催されました。午前中の「介護講習会」では、洞爺協会病院理学療法士の^{あきのすけ}大野幹雄さんが、電動ベッドなどを使った実践的な介護指導を行いました。

また、午後からの「パネルディスカッション」では、登別総合在宅ケアセンター所長らが、福祉機器を使用して実際に介護支援を行ったケースについて事例発表を行った後、福祉や医療分野の代表者などが、福祉機器のリサイクルをテーマに討論を行いました。





こばやし み き 小林美紀さん

昭和26年6月生まれ。47歳。
管理栄養士。天使女子短期大学を卒業後、登別厚生年金病院勤務を経て昭和58年12月から室蘭・登別総合健診センターに勤務。

「総合健診センターでは、最新の医療機器とコンピュータを使用して、病気の予知・予防と早期発見のためのさまざまな検査を短時間で行うことができます。また、午前中に行った検査は、午後からその結果と説明を医師である所長から聞くことができます」と話す管理栄養士の小林さん。

「総合健診センターでは、最新の医療機器とコンピュータを使用して、病気の予知・予防と早期発見のためのさまざまな検査を短時間で行うことができます。また、午前中に行った検査は、午後からその結果と説明を医師である所長から聞くことができます」と話す管理栄養士の小林さん。

小林さんは、健診の結果、異常の疑いがあると指摘された方や食事の取り方に問題のある方などの生活指導や栄養指導を行っています。「午前中は、健診のお手伝いをさせていたいただきながら、午後からの生活指導や栄養指導に役立てるため、受診されている方の様子などを見させていただいています。健診データも数年にわたり保存しているのので、受診者の健康状態の流れが分かります」と小林さん。



しげだまり

室蘭・登別総合健診センター
室蘭市東町4丁目20-6 (☎5759)

「ひだまり」は、紙面改定のため今号で終了させていただきます。1年間のご愛読ありがとうございました。

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち Group

少林寺拳法登別連盟



少林寺拳法を通じて
自分を見つめ、人の道に
恥じない生き方を

「少林寺拳法では、相手と向かい合い、お互いに自分の胸の前に両手を合わせますが、片手は自分を、もう一方の片手は相手を表現しています。相手があつて成り立つことから、常に相手を尊重し、敬う心を育てるよう指導しています。また、少林寺拳法に限らず、武道は礼に始まり礼に終わりますので、礼儀作法を身に付けることも大切な修行として教えています」と語る伊藤正三さん。

少林寺拳法登別連盟は、昭和50年10月に結成され、今年で23年目になります。伊藤さんは同連盟結成当時から支部長として会員の指導にあたっています。

会員は、小中学生が大部分を占め、男子41人、女子5人の計46人。練習は、労働福祉センターと登別市青少年会館を会場に、毎週火・金曜日の午後6時から2時間にわたって行われています。



「ある程度の技量を身に付けた子どもたちには、その子よりまだ未熟な相手と練習をさせます。相手の欠点をじっくりと見て、自分と比較することで基本を省みることができるようになります。また、さらに自分を見つめ直すために、正座をして呼吸を整えながら精神の統一を図る「調息」を取り入れた指導を行っています」と伊藤さん。

「子どもたちには、何事にもくじけない強い精神力と、相手を思いやる優しさを身に付けてほしいですね。最近の子どもは、とかくがまん強さに欠けるといわれていますが、少林寺拳法を習っている子どもたちには、何事も途中で投げ出さずやり遂げようという強い意思があります。少林寺拳法を通じて自分を見つめ、人の道に恥じない立派な大人に成長してほしいですね」と話す伊藤さん。

入会を希望する方は、伊藤さん (☎1036) までどうぞ。

ちよつと ひとこと

楽しかったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクスでお寄せください。紙面上では匿名でも氏名、住所、電話番号をお知らせください。なお、個人や団体への中傷や営利を目的としたお話はご遠慮ください。

企画広報室 中央町6-11
☎1122 FAX1108

景気が良くなるように

先日、4万円分の地域振興券をいただきました。

二人いる子どものうち、上の子どもが今春、小学校に入学するので学習機を購入しようと思い、早速、振興券を使わせてもらいました。振興券が国会で決まるまでいろいろと論議があったようですが、不景気の今、振興券を使うことで景気が上向きになるよう願ってやみません。(富岸町 女性)

子ども会の活動に理解を

1月31日(日)、登子連かるた大会が市民会館で催されましたが、子どもたちの真剣な戦いぶりを見て一生懸命練習してきたのだろうと感心するとともに、練習場所や町内会の協力はどのようになっているのだろうとの思いが広がってきました。それは、ある育成者の方が「もう少し、子ども会に理解を持ってくれたら…」といった一言が心に残っていたからです。

町内会のご理解とご協力をお願いします。(片倉町 女性)

「ちよつとひとこと」の 枠を拡大します

市民のみなさんから市に寄せられるさまざまな声をより多く掲載するため、5月1日号から「ちよつとひとこと」の枠を拡大します。

市への疑問や提言、紙面を利用してみんなで考えてみたいことなど、みなさんの声をお寄せください。

(総務部企画広報室)

同センターを利用する登別や室蘭などの市民は年間約3万人で、そのうち人間ドックと呼ばれる総合健診や成人病健診などを利用する方は約5千人。健診を受けた方の半数は何かの異常を指摘されるそうです。「生活習慣病は、以前、成人病と呼ばれていましたが、運動不足や誤った食生活などを長年続けることで、成人だけに限らず子どもも病気に陥ってしまうということから名称が変わりました。糖尿病、脳血管疾患、心疾患などの生活習慣病は10年以上の歳月を経て発症するといわれています。生活習慣病にかからないようにするには、若いときから規則正しい生活やバランスのとれた食事を取り、適度な運動をすることが必要です。それには、まず自分の健康状態を知るために、最低でも年に一度は健診を受けてほしいですね。健診は、体の不調を感じてから受けるのではなく、若いころから定期的に受けることが大切です。総合健診セ

ンターを利用しているだけでなく、一人でも多くの方が健康で日々の生活を楽しく過ごしていただければうれいすね」と話す小林さんは、飽食時代の今、病気になるのもならないのも本人の心掛けしだいですと、毎日、生活習慣病予備軍の方たちの指導を続けています。



ししどしほ
穴戸志帆さん (20歳)

御やど清水屋勤務
お客さまの「ありがとう」の言葉
が一番うれしい

「登別は全国的にも有名な温泉のある観光地。自分が育ったこのまちで、大勢のお客さまをおもてなしできる仕事は、とてもやりがいがあります。お客さまが私どものサービスに満足して、笑顔で帰っていただけたときが一番うれしいですね」と話す穴戸さんは、2月に20歳を迎えたばかりの新成人。

平成9年12月の入社以来、宿泊客の出迎えや客室案内、電話予約の対応などを担当するフロントとして活躍しています。

「1月の成人式には、自分で買った振りそでを着て出席しました。これからは大人の一員として、自分自身をもっと磨いていきたいです」と20歳の誓いを語ってくれました。



「新たな業務にチャレンジしてみないか」と声を掛けられたことがきっかけ

「洋菓子づくりに取り組んで10年目を迎えた昨年8月、上司から突然、新たな業務にチャレンジしてみないかと声をかけられたことが地ビール製造に携わるきっかけでした。最初はとても不安でしたが、こうした機会はめったにないと思い決断しました」と話す柴田さんは、三重県伊勢市で6週間の醸造研修を受けた後、直ちに地ビール製造に取り掛かり、昨年10月からは地ビール醸造責任者として多忙な毎日を送っています。

胆振管内で初めての地ビールは、まろやかで飲みやすいアメリカンタイプ

「地ビールを醸造するとき、特に気を付けなければならないことは、雑菌の混入防止と酵母を発酵させるときの温度管理です。雑



▲地ビール館内の醸造設備

菌が入ったり温度が著しく変化すると、酵母が減少したり活動を停止したりするので、味が変わってしまうのです」と語る柴田さん。

同館では「鬼伝説」の商品名で、ホップの効いたそう快な「青鬼」（ビルスナー）、芳純な味と香りの「赤鬼」（レッドエール）、苦みが弱くフルーティな「白鬼」（ペールエール）の3種類を製造販売しています。それぞれの味に特徴があり、市民や観光客に大変喜ばれているそうです。

「当社の製品は、アメリカンタイプといわれ、市販のビールより少し濃いまろやかな味の特徴です。これからは、豊浦産いちごや牡蠣産リングゴなどを使い、地域の特産品として愛され、地域に根ざした地ビールづくりを目指して頑張っていく予定です」と柴田さんは熱い思いを語ってくれました。

きらり

KIRARI

しばたやすひこ
柴田泰彦さん

洋菓子づくりに10年間携わり、上司から声をかけられたことがきっかけで、地ビール製造に励んでいる柴田泰彦さん。

昨年11月から(株)わかさいも本舗登別東店「のぼりべつ地ビール館」で販売されている「鬼伝説」は、胆振管内では初の地ビール。醸造責任者として活躍している柴田さんに話を聞きました。

地域に愛され、地域に根ざした地ビールづくりを目指して

▶「鬼伝説」についての問い合わせ
のぼりべつ地ビール館
(☎80 2111)



昭和43年4月生まれ。30歳。

(株)わかさいも本舗登別東店「のぼりべつ地ビール館」で、年間90万本(ピン換算18万本)の製造を目標に、地ビール醸造責任者として活躍中。

あひかり

老人医療費の一部負担金が変わりました

老人保健法の改正により、医療機関の窓口で支払う老人医療費の一部負担金が4月1日(木)から変わりました。

区分	変更前	変更後
入院1日につき	1,100円	1,200円(※)
通院1日につき	500円	530円

(※) 市民税が非課税世帯の方については、限度額(35,400円)適用認定の制度があります。

▼問い合わせ 保険年金課 (☎1771)

「緑風園」で老人デイサービスを開始します

市は、登別市社会福祉協議会に在宅老人デイサービスの業務を委託し、「しんた21」で行ってきましたが、サービスの利用を希望するお年寄りが年々増加しているため、市内2カ所目の拠点として「特別介護老人ホーム緑風園」に在宅老人デイサービスの業務を委託し、5月6日(木)からサービスを

始めます。

詳しくはお問い合わせください。

▼場所 特別介護老人ホーム緑風園(中登別町23-17)

▼対象 幌別・登別・登別温泉地区に居住し、自宅での歩行や入浴など、日常生活に支障のあるおおよね65歳以上の寝たきりや体の弱い方

▼内容 入浴や食事の世話、レクリエーションなど

▼利用料 1回500円

▼申し込み・問い合わせ 登別在宅介護支援センター(しんた21内☎2221)

岡志別の森運動公園を

ご利用ください

岡志別の森運動公園

施設区分	利用期間	利用時間
野球場	5月1日(土)	5月…… 6:00~18:00
	10月31日(日)	6~9月…… 5:00~19:00
		10月…… 6:00~17:00
テニスコート	4月10日(土)	4~11月…… 6:00~21:00
	11月20日(土)	
パークゴルフ場	5月1日(土)	5月…… 6:00~18:00
	11月20日(土)	6~9月…… 6:00~19:00
		10~11月…… 6:00~17:00

※施設を利用するには、それぞれ利用料がかかります。なお、施

設の状況により、利用期間および利用時間を変更することがありますので、ご了承ください。

▼申し込み・問い合わせ 岡志別の森運動公園管理事務所 (☎2525)

小・中学校の体育館を

開放します

教育委員会は、地域のスポーツ活動を促進するため、市内小・中学校の体育館を開放します。

▼開放指定校 登別温泉中学校、登別中学校、登別小学校、幌別東小学校、幌別小学校、青葉小学校、若草小学校、鶯別小学校

▼開放期間 平成11年5月10日(月)~平成12年2月29日(火)

▼使用時間 18時~21時

▼対象 市内に居住または通勤している10人以上で組織され、スポーツ安全保険などに加入し、興業など営利を目的としない団体

市民のみならず、家庭や事業所などで不用になったものや欲しいものを電話で登録し、希望者へあつせんする「不用品ダイヤル市」の業務を、4月1日(木)から登録消費者協会が行います。

▼申込みは登録消費者協会へ (4月1日(木)から)

▼問い合わせ 社会教育課 (☎1129)

▼申込方法 4月19日(月)までに社会教育課(市民会館内)または総合体育館に備え付けの申請書に必要事項を記入し、社会教育課へお申し込みください

▼不用品ダイヤル市の申し込みは登録消費者協会へ

▼受付日時 火~金曜日(祝日・年末年始を除く)の10時から16時まで

▼問い合わせ 登録消費者協会 (☎8307)

出張税務相談を開催します

不動産の売買、相続・贈与の税金、パートで働いた場合の税金、住宅を取得した場合の還付金など税金に関する相談を、札幌国税局税務相談室苫小牧分室税務相談官が無料でお受けします。

▼日時 4月22日(木) 10時~15時

▼場所 幌別公民館第2会議室

▼問い合わせ 札幌国税局税務相談室苫小牧分室 (☎01446611)

応援します! あなたのまちづくり活動

いきいき推進事業補助制度をご活用ください

市は、総合計画で描いた「ふれあい交流都市」の実現を目指して、歴史や文化、自然、産業などを生かした個性豊かなまちづくりを、市民のみならずとに進めるため、市民団体を対象に財政支援を行っています。

▶補助対象事業 まちづくりを積極的に推進する市民団体が新たに取り組むまちづくり事業(団体の運営補助を除く)

▶対象となる事業例

個性豊かなまちづくりに関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ◎地場産業の振興 ◎人材育成 ◎自然・環境との調和 ◎地域イメージの向上 ◎地域情報化の推進
ふれあい交流推進に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ◎教育・生活・文化の振興 ◎地域間交流の推進 ◎国際交流の推進 ◎コミュニティー活動の推進 ◎スポーツ、レクリエーションの振興

※経費によっては補助対象とならない場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

▶補助限度額 30万円(対象事業費の2分の1の範囲内。ただし、他からの補助を受ける場合は補助額が変わります)

▶申込方法

◎上期…5月7日(金)までに、市役所1階総合案内、各支所、市民会館に備え付けの申請用紙で、企画広報室(市役所2階)へお申し込みください

◎下期…9月下旬(「広報のほりべつ」でお知らせします)

▶問い合わせ 企画広報室 (☎851122)

はまもと ひろし
濱本 洋 (ピアノ)



くまべよしひり
日下部良典 (サクソホン)



たなかひさお
田中久雄 (コントラバス)



たけだたかのり
武蔵一範 (ドラムス)

▼改修工事が行われている市民会館大ホール



このまちが 好き

市民会館大ホール改修記念事業
『はまもと洋カルテット』
スィングポップスコンサート

客席の床を傾斜式にし、舞台をいっそう見やすくするために、行っていた市民会館大ホールの改修工事が、4月末をめどに終了します。

車いすを利用する方のスペースなどを新たに設け、生まれ変わった「大ホール」のこけら落としとして、「はまもと洋カルテット」スィングポップスコンサートを開催します。

▼日時 5月14日(金) 開場18時、開演18時30分

▼場所 市民会館大ホール

▼演奏曲目 マンボNo.5、ダニーボーイ、ルパン三世のテーマ、アランフェス協奏曲など

▼入場料(全席自由) 一般1千500円、高校生以下1千円

(未就学児の入場はお断りします)のでご了承ください

▼チケット取扱先 市民会館、総合体育館、鷺別公民館、市役所内母子会売店、アーニス、紀文堂書店(JR登別駅前)、ブックアベニューいりえ(若草町)

▼問い合わせ 文化・スポーツ振興財団(☎1116)

となりまち

ホットライン

室蘭市

めざせJ-1!

コンサドーレ札幌を応援しよう

▼コンサドーレ札幌の室蘭でのホームゲーム日程

●Jリーグカップ戦
4月7日(水) 13時 対アビスパ福岡

●J2リーグ戦
4月11日(日) 12時30分 対アルビレックス新潟
4月25日(日) 13時30分 対モンテディオ山形

▼場所 室蘭市入江陸上競技場
▼チケット取扱先 登別市民会館、ローソン各店、丸井今井各店

▼問い合わせ コンサドーレ札幌 (☎011-750-2929)

伊達市

だて歴史の杜カルチャーセンターへ

どうぞお越しください

●劇団四季公演「エルリック・コスモスの239時間」

▼日時 4月17日(土) 開演17時30分

▼場所 カルチャーセンター大ホール
▼入場料(全席指定) S席4千200円、A席3千150円

▼チケット取扱先 カルチャーセンター窓口、各プレイガイドほか

●さだまさしアコースティックコンサート

▼日時 5月16日(日) 開演18時30分

▼場所 カルチャーセンター大ホール
▼入場料(全席指定) 6千300円

▼チケット取扱先 カルチャーセンター窓口
▼問い合わせ だて歴史の杜カルチャーセンター (☎011-4222-1515)

この広報紙は再生紙を使用しています。